

東海教育オーディオロジー研究協議会
第16回夏期講習会のご案内(参加要項第2報)

後援 東海地区聾学校長会

1 期 日 令和元年8月4日(日) 9:40~16:35〔初級講座、共通講座〕
8月5日(月) 9:20~16:00

2 会 場 8月4日(日) 愛知県立千種聾学校
(名古屋市千種区若水二丁目5番1号)
8月5日(月) 名古屋市総合社会福祉会館
(名古屋市北区清水4丁目17-1)

3. 内 容 講演会及び少人数編成で選択制の講習会
※ 教育オーディオロジーの基礎的な内容及び中級的な内容を扱います。

4 定 員 令和元年8月4日(日) 40名 (基礎講座8名)
8月5日(月) 100名
(両日とも先着順とし、定員を超えた場合は会員を優先します。)

5 受講費用

	会 員	会員外
8月4日(1日目)	1,000円	2,000円
8月5日(2日目)	2,000円	3,000円

6. 参加申込み

申込み締切日 7月19日(金)

参加希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入の上、メール又はFAXで申し込んでください。

申込先 東海教育オーディオロジー研究協議会事務局(愛知県立千種聾学校内) 小岩泰典

メールアドレス [toukai_ed_aud\[at\]yahoo\[dot\]co\[dot\]jp](mailto:toukai_ed_aud@yahoo.co.jp)

*迷惑メール防止のため、[@]は[at]、[.]は[dot]に代えて表記してあります。

FAX 052-723-6824

HPアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~tokai/>

※ 電話での申込みや問合せはご遠慮ください。

7. その他

昼食は各自ご用意ください。

情報保障(手話通訳)が必要な方は、申込みの際にお申し付けください。

8 日 程

8月4日(日) (一日目) 愛知県立千種聾学校 初級講座	09:20~09:40	受付【玄関】		
	09:40~09:45	オリエンテーション【各教室等】共通講座		
	09:50~11:10	初級講座		
		聞こえにくって どんなこと?〔講義〕 高山	担任が知っておきたいこと (補聴器の保守管理 ・福祉制度等)〔講義〕 筒井	発語発音指導の基礎 〔講義・実習〕 愛知県立岡崎聾学校 佐々木 繁 先生
	11:20~12:40	基礎講座 (定員8名)	担任が知っておきたいこと (人工内耳の保守管理等) 〔講義〕 吉村	発語発音指導Q & A 〔講義・実習〕 愛知県立岡崎聾学校 佐々木 繁 先生
		(1) 聴力検査の方法と オーディオグラムの見方 〔講義・実習〕 濱地・安部		
12:40~13:40	昼食 ※昼食は、参加者が各自用意する。			
13:40~15:00	(2) 補聴器について 〔講義・実習〕 濱地・安部	担任が知っておきたいこと (オーディオグラムと補聴器 周波数特性の関連) 〔講義・実習〕 荒井	自立活動 〔講義〕 小岩や	
15:10~16:30	聴覚障害児を 教えるにあたって (授業の基本)〔講義〕 大橋	授業づくり 〔講義〕 愛知県立一宮聾学校 上田 桂子 先生	通級指導の実際〔対談〕 豊田市立元城小学校 市川智恵子 先生 愛知県立岡崎聾学校 村松 弘子 先生	
16:30~16:35	事務連絡等			
8月5日(月) (二日目) 名古屋市総合社会福祉会館	09:00~09:30	9:00~受付・9:20~オリエンテーション		
	09:30~10:30	発達障害と聞こえの困難 〔講義〕 小川	人工内耳Q & A 〔講義・協議〕 愛知淑徳大学 井脇 貴子 先生	補聴器の調整 (補聴器調整をしてみよう) 〔講義・実習〕 理研産業
	10:40~11:40	聴覚障害乳幼児の 健やかな成長のために 〔講義〕 服部	人工内耳の現状 〔講義〕 愛知淑徳大学 井脇 貴子 先生	補聴支援機器 〔講義・体験〕 (定員15名) 理研産業
	11:40~12:40	昼食 機器展示		
	12:40~12:50	総会		
	12:50~13:20	ショートレクチャー「人工内耳装用児の現状と課題」 東海学院大学 松森 久美子		
	13:30~16:00	講演会 「聴覚障がい児の音楽とことば」 講師 筑波大学聴覚特別支援学校 山本 カヨ子 先生		
	16:00	閉会		

9 選択制講習会概要

講座名		担当者	講座内容
8月4日(日) (一日目)	聞こえにくいってどんなこと?	高山	一言で「聞こえにくい」と言っても、聞こえ方は人によって様々で、分かることやできること、困ることや必要な支援も、一人一人異なります。そこで、聞こえ方の体験や具体的なエピソードを通して、子どもたちの聞こえにくさへの理解を深めたいと思います。(初めて聴覚障害児と関わる方向けの内容です。)
	担任が知っておきたいこと(補聴器の保守管理・福祉制度等)	筒井	担任として知っておきたい補聴器の基礎知識と福祉制度についてお話しします。補聴器の日常の保守管理を中心に、補聴器の申請手順等の福祉制度についても学びます。
	担任が知っておきたいこと(人工内耳の保守管理等)	吉村	担任として知っておきたい人工内耳の基礎知識についてお話しします。人工内耳の仕組みや補聴器との違い、人工内耳の日常の保守管理等について学びます。
	担任が知っておきたいこと(オーディオグラムと補聴器周波数特性の関連)	荒井	担任として知っておきたいオーディオグラムと補聴器周波数特性の関連についてお話しします。①オーディオグラムと周波数特性それぞれの見方、②裸耳聴力と装用閾値、周波数特性の3つの関連、③②から分かる子どもの補聴器の調整について学びます。
	発語発音指導の基礎 発語発音指導Q&A	佐々木	①発語発音指導のための基礎知識、②幼稚園4歳個別指導の事例を基に具体的な指導内容、方法を報告します。前半のみ、後半のみの参加でも結構です。申込用紙に記入のあった質問には、後半の講座で回答します。<持ち物>赤、青、黄の色鉛筆、「学童発音学習」佐々木繁著(※持っている人)
	自立活動	小岩や	時間の自立、日常生活の中での自立、また、教科学習の中での自立について考えていきましょう。
	聴覚障害児を教えるにあたって(授業の基本)	大橋	聴覚障害児も、いろいろな工夫をしていくことで、授業の内容を理解して、「分かった!」と学習を楽しむことができます。この講座では、やりとりや座席への配慮、板書の仕方など、授業で気をつけるべき基本的なポイントを学びます。
	授業づくり	上田	子どもたちが幼稚園で培ってきた豊かな生活力や言語力を、小学部できちんと受け取り、中学部に確かな学力を身に付けて送ることが、小学部教育の目標の一つです。確かな学力とは思考力に支えられています。このねらいに迫っていくために、授業における基礎基本を確認し、具体的な授業の中で思考力を育てるために必要な手立てを提案します。
	通級指導の実際	市川 村松	小学校中学校に在籍する聴覚障害児童生徒の通級指導の実際について、豊田市の通級指導担当6年目と豊学校の通級指導経験者が対談します。昨年度から始まった学力テスト英語の「聞く、話す」や高校入試の配慮等、情報交換しましょう。
	基礎講座 (1) 聴力検査の方法とオーディオグラムの見方 (2) 補聴器について	濱地 安部	聴力検査の方法やその結果の見方、補聴器に関する基礎的内容を学びます。実際にオーディオメータに触れての聴力検査、補聴器の試聴もします。聴力検査を一度もしたことがない、補聴器にほとんど触ったことがないという人を対象にしています。※原則として(1)(2)を続けて受講してください。
8月5日(月) (二日目)	発達障害と聞こえの困難	小川	聴覚活用によるコミュニケーションや学習において、難聴の子どもたちはどんな努力をしているのでしょうか。発達障害の子どもたちが抱える「きこえの困難」を知ることによって、難聴の子どもたちの努力をかいま見ることができます。「発達障害をとおして難聴を知る」というのがこの講座のテーマです。
	聴覚障害乳幼児の健やかな成長のために	服部	乳幼児教育相談を担当して「小さいときが大事」と実感しています。日々の気づきや、心がけていることなどについてお話しします。教育相談を担当している方、担当したいと思っている方集合です。
	人工内耳Q&A	井脇	人工内耳について基本的なことの質問や具体的なケースについての相談など、参加者の皆さんからの話題提供をお待ちしています。一緒に考えていきましょう。
	人工内耳の現状	井脇	人工内耳の両耳装用を中心に、人工内耳のホットな情報をお伝えします。
	補聴器の調整(補聴器調整をしてみよう)	理研産業	フォナック小児専用耳かけ型「スカイ」を使用し、フィッティングソフトをPCで操作しながら調整します。パソコン一台あたり2~3人で実習します。なお、参加申込書に補聴器の調整(ファーストフィットを含む)の経験の有無をお書きください。
	補聴支援機器	理研産業	フォナックロジャー(インスパイロ・タッチスクリーン)の機能についての講義及び実習を行います。実際にロジャーを起動させ、きこえを体感します。なお、参加申込書に体験したいロジャーの機種(インスパイロ、タッチスクリーンのいずれか)をお書きください。

10 講師

【講師】

- 山本カヨ子 先生 (筑波大学聴覚特別支援学校)
- 井脇 貴子 先生 (愛知淑徳大学 教授)
- 市川智恵子 先生 (豊田市立元城小学校)
- 佐々木 繁 先生 (愛知県立岡崎聾学校)
- 村松 弘子 先生 (愛知県立岡崎聾学校)
- 上田 桂子 先生 (愛知県立一宮聾学校)

【講師兼スタッフ】

- 大橋さとみ (愛知県立千種聾学校)
- 小岩 恭典 (愛知県立千種聾学校)
- 高山美代子 (愛知県立千種聾学校)
- 服部真由美 (愛知県立千種聾学校)
- 吉村 雄太 (愛知県立千種聾学校)
- 安部 朋美 (愛知県立一宮聾学校)
- 荒井 麻里 (愛知県立一宮聾学校)
- 濱地 航平 (愛知県立一宮聾学校)
- 筒井 秀俊 (愛知県立岡崎聾学校)
- 小川 征利 (岐阜県立揖斐特別支援学校)
- 松森久美子 (東海学院大学)

11 会場案内

- 8月4日(日) 愛知県立千種聾学校
名古屋市千種区若水二丁目5番1号
TEL 052-711-4121 FAX 052-723-6824
・JR名古屋駅から地下鉄東山線で「池下」下車北へ800m
(「池下」で下車の場合、地下鉄は1番出口を出ると便利です。)

- 8月5日(月) 名古屋市総合社会福祉会館
名古屋市北区清水4丁目17-1
TEL 052-911-3191 FAX 052-917-0702
・地下鉄黒川駅徒歩5分

※ 千種聾学校、名古屋市総合福祉会館のホームページでアクセスをご確認ください。



東海教育オーディオロジー研究協議会 第16回講習会参加申込書

氏名 _____ 所属 _____

※ 所属には、担当の部、乳幼児教育相談、通級担当、難聴学級等もお書きください。
 該当のところに○印をご記入ください。

※ 東海教育オーディオロジー研究協議会 会員 ()、非会員 ()

※ 情報保障〔手話通訳〕希望 ()

※ () 8月4日(日)参加 () 8月5日(月)参加 () 両日とも参加

受講諾否や講座選択の調整のために連絡させていただくことがありますので、連絡が取れるメールアドレス（携帯メール不可）を必ずご記入ください。

入会を希望される方は、会員に○を付けていただき、申込みの際に入会手続をしてください。

希望する連絡先・連絡方法（自宅・勤務先） ○でかこんでください。

住所 〒 _____

(TEL・FAX _____) (E-mail _____)

- ◎ 少人数選択制です。受講を希望する講座 第1希望、第2希望をそれぞれ①②とご記入ください。
- ◎ 一日目の基礎講座は、ニコマ通しての講座です。他の講座との併用はできません。基礎講座を希望される方は、基礎講座を第1希望とし、他の講座から第2希望を選択してください。

8 月 4 日 (日) (一日目)	09:50～11:10	聞こえにくいって どんなこと? ()	担任が知っておきたいこと (補聴器の保守管理・福祉制度等) ()	発語発音指導の基礎 ()
	11:20～12:40	基礎講座 () (1) 聴力検査の方法と オーディオグラムの見方 (2) 補聴器について	担任が知っておきたいこと (人工内耳の保守管理等) ()	発語発音指導 Q & A ()
	13:40～15:00		担任が知っておきたいこと (オーディオグラムと補聴器周波数特性の関連) ()	自立活動 ()
	15:10～16:30	聴覚障害児を教えるに あたって(授業の基本) ()	授業づくり ()	通級指導の実際 ()
	09:30～10:30	発達障害と聞こえの困難 ()	人工内耳 Q & A ()	補聴器の調整 () 有 () 無 ()
	10:40～11:40	聴覚障害乳幼児の 健やかな成長のために ()	人工内耳の現状 ()	補聴支援機器 () イヤホン() タッチスクリーン()
	12:50～13:20	ショートレクチャー「人工内耳装用児の現状と課題」 () ←参加される方は○、不参加は×を記入してください。		
	13:30～16:00	講演会「聴覚障がい児の音楽とことば」 () ←参加される方は○、不参加は×を記入してください。		

◎発語発音指導 Q & A (), 人工内耳 Q & A () の講座を選択希望された方で、講師の先生方に取り上げていただきたい内容がありましたら、該当する講座の方に○を付け、質問事項をお書きください。

申込書はコピーなどの控えを取ってください。

